

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	大学院インターンシップ		
英文授業科目名	Advanced Internship		
開講年度	2008年度	開講年次	
開講学期	前学期	開講コース・課程	博士前期課程
授業の方法	演習	単位数	2
科目区分	電気通信学研究科-人間コミュニケーション学専攻-専門科目		
開講学科・専攻	人間コミュニケーション学専攻		
担当教官名			
居室			

公開E-Mail	授業関連Webページ
渡辺 成良 奥 浩昭	

<b>【主題および達成目標】</b>
<p>企業における実習・研修によって、技術開発やサービスの実際に関心と興味を深め、技術者、研究者やマネージャとしての自分の将来を判断するための経験を得るとともにその心構えを養う。また、これまで大学で得た科学技術知識と実際の技術の関連性、技術開発と経済性の関係、コミュニケーションの重要性を体感することによって、職業意識を高めることを目指す。企業実習・研修を体験することによって、科学技術教育の意義の理解と重要性の認識を深め、大学院における研究への意欲、目的を明確にすることを目指す。</p>

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
なし

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
なし

<b>【教科書等】</b>
なし

<b>【授業内容とその進め方】</b>
<p>期間は3週間、90時間以上とする。          インターンシップ先は、自分の動機、希望職種を熟考、明確にしたうえで、専攻のインターンシップ担当教員と相談して決定する。具体的な内容は、各インターンシップ先企業の指示に従う。          インターンシップ終了後、学内での報告を課す。</p>

## 電気通信大学 平成20年度シラバス

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

企業での実習・研修を遂行するとともに、自身の職業意識を明確にすることが合格基準である。  
実際の評価は、実施報告書の提出と専攻での口頭の報告及びそれに対する質疑応答、そして企業からの報告書に基づいて行う。

### 【オフィスアワー：授業相談】

必要に応じて、専攻インターンシップ担当教員とアポイントメントを取り、相談すること。

### 【学生へのメッセージ】

かけがえのない大学生活は、かけがえのない人生の一ページです。卒業後のあなたの人生をかがやかせるために、あるいは、人生の光と影を知るために、インターンシップを。

### 【その他】

なし